# まち

## No.8 2017年春号

発	行	$\Box$	:	平成29	年	3	月	20	$\Box$
---	---	--------	---	------	---	---	---	----	--------

発 行:日本大学理工学部まちづくり工学科教室

☎ 03-3259-0531(学科事務室)

発行責任者:八藤後 猛(教室主任) 編 集 担 当:横内憲久

制 作:株式会社 ムーンドッグ

#### contents

<b>登</b> 期吉	I
特集 わたしの趣味、道楽 ····································	2
平成 28 年度 卒業生の就職活動状況 ····································	10
平成 28 年度 まちづくり工学科研究業績 ······	12
平成 28 年度後期 "ま <mark>ち"</mark> 行事・イベントカレンダー	14
教職 <mark>員・学生の活躍。</mark>	16

#### 巻頭言

### より安全なまちづくり、国づくりを目指して 一見えない危険有害性の「見える化」への挑戦ー

教授 城内 博



人の健康を脅かす見えない危険はたくさんありますが、その中のひとつに化学品があります。とくに産業革命以降は多くの化学品が開発、使用されて非常にたくさんの人々がそれらによる事故や病気で亡くなりました。また後遺症等で苦しんできた人も大勢います。現在も世界では化学品が原因で年間に数十万人が亡くなっています。近年、日本ではアスベストによる肺がん、印刷用有機溶剤による胆管がん、染料の原料による膀胱がんなどが労働者の間で多数発見されてマスコミにも取り上げられました。一般家庭でも化学品による健康被害や死亡例が後を絶ちません。

これまでに身近で化学品の危険有害性を感じたことがある 人は多くはないかもしれませんが、実は日本は欧米に比べて とても危ない状況にあります。例えば危険ドラッグの使用に よる自動車事故等で何人もの命が奪われました。数年前には ノロウィルス対策のためにつくられた製品で母親と子供が重 篤な皮膚炎を起こした例もありました。これらの事故の大き な原因のひとつに、日本では危険有害性を製品のラベルに記 載させる法律がないことがあげられます。欧米ではすでに数 十年前から法律があります。製造者や販売者は法律がなけれ



GHS の絵表示

ば製品の危険有 害性を記載する ことはしません。また消費者 はラベルに危険 有害性が書かれ て全だと思って 全だと思っ。

私の専門は働 く人の健康障害 対策です。30年 ぐらい前に日本 には化学品の危険有害性を知らせる法律が未整備なことに気づき、なんとか危険有害性を「見える化」する必要があると思い続けていました。そして偶然にも約20年前にこの危険有害性の見える化を世界的に統一するプロジェクトに参加する機会を得たのです。アジアから唯一の国の代表でした。その後10年余りの検討を経て2003年に国連勧告「化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)」が完成しました。GHSの会議は年2回開催され、改訂作業を続けていますが、現在もこの会議に日本代表として参加しています。

2003年の GHS 発行以降、これの国内法令や日本工業規格 (JIS) への導入に参画してきました。徐々にではありますが GHS が日本の法令に取り入れられ、化学品の危険有害性が ラベルにわかりやすく表示されるようになりました。GHS にしたがって作成されたラベルでは製品の危険有害性が誰に でもわかる言葉で書かれ、どのように行動すべきかについて も記載されています。最も特徴的なのは絵表示(図)で、一目で世界中の誰もが危険有害性がわかるように工夫されています。

GHS は国内法令に取り入れられたといいましたが、実は 消費者製品は対象になっていません。工業用製品つまり工場 等で使用される化学品だけが対象なのです。皆さんがスーパーや日曜大工センターなどで購入するほとんどのものには危 険有害性は記載されていません。成分表示や危険有害性の記 載はないのに、効能書きがすばらしい化学製品には注意をしてください。実際にそのような製品で事故が起きています。 消費者製品の危険有害性を「見える化」することが次の私の 目標です。

情報が被害を小さくすることは自然災害の経験からもよく 知られていますが、化学品による災害も同様です。見えない 危険有害性を見えるようにするだけで、何万人も死や病気か ら救われる可能性があるのです。安全なまちづくりにはこの ような仕事もあります。 王道!スポーツ系

家族と一緒に。 家族のために。 ある意味、 仕事人間 コレー筋、 ウン十年!

# わたじの趣味、道楽

今回の特集は、教員の表の顔ばかりでなく、少しでも実像に 迫ろうと思い、普段の趣味や道楽を披露していただくことにし ました。

広辞苑によると、"趣味"とは『専門家としてではなく、楽しみとする事柄』とあります。一方"道楽"は、「道」を解して自ら「楽」しむ意からの言葉であり、『本職以外の趣味などにふけり楽しむこと』や「ものずき」、「放蕩」などの意も見られます。趣味はそこそこ品位や節度を保っているように見えますが、道楽となると制御が効かず、周りに迷惑をかけ、身を滅ぼしそうなイメージです。「道楽息子」とは言っても、「趣味息子」はあまり聞きません。それでも、道楽は趣味を凌駕するほどの奥深さとプロフェッショナルな雰囲気を醸しているように感じます。

さて、まち科の教員にどれほどの趣味人と道楽者がいるかわ

かりませんが、"えー、この人が!" など、今までの授業や演習でのイメージが一変すると、特集した意味があったように思います。なお、原稿は専任教員全員に同じ字数と趣味や道楽に興じている写真をお願いしました。全員の原稿を読ませていただいた上で、編集子(横内)の特権でさらに追加質問しその実像に迫りましたので、併せてお読みください。

なお、今年は、1期生が卒業です。この特集を読んで、「あの 先生は面白い趣味を持っていたんだ」と懐かしんだり、新入生 は各教員の欄に受け持たれている科目が書いてありますので、 授業を聞きながら趣味を思い出してほくそ笑んだりしてください。 教員が身近に感じられますよ。

## 距置! スポーツ窓



城内 浩(教授)

苦しいあそび



2006 年全日大テニス大会で理工学部教職員が優勝

10代は軟式テニス、20代~30代前半は 硬式テニス、30代後半からはゴルフをしました。趣味、道楽というと楽しそうですが、私の場合は苦しみが多かったように思います。

テニスではインターハイ、国民体育大会(3回)、インカレ(2回)に出場しましたが、相当に苦しく、あぶないあそびでした。 医学生の時のインカレ、ベスト32は当時の医学部記録に近かったかもしれません。当然のことながら講義はサボる、期末試験は落ちる、友人からは見捨てられる、国家試験は受かりそうにない等々、なかなかスリリングな学生時代でした。ゴルフは就職してから始め たので、時間がかけられずなかなか上達しません。ハンディキャップは8で止まっています。定年後時間ができたらもう少しうまくなりたいと思っています。日本大学体育大会(教職員の部)では、テニスとゴルフに参加し計8回優勝しました。これもまた負けられない苦しい戦いでした。テニスもゴルフも嫌になりながら途中でやめないのは、上手になっていく過程が楽しいからなのでしょうか。

担当科目 都市・地域防災論 健康関連対策とまちづくり 人間生活工学特論



テニスでのインターハイから国体、インカレ出場はすごい。ご本人は「目標を決めたら諦めない性格の結果」とおっしゃいますが、すごい努力であったことは想像に難くありません。さらにゴルフのハンディ8も尋常ではないですね。スポーツは間違いなくかけた時間に比例してうまくなるそう。「ゴルフでいえば、10万球打てば誰でもハンディ10前後にはなりますよ」とさらりと語ってくれました。



#### 阿部貴弘(准教授)

### サッカー談議



Allianz Arena(ドイツ・ミュンヘンにあるサッカー場。 2006 年ドイツW杯準決勝の会場となった。ここを訪れた際のエピソードは、談議のネタのひとつ)

↑ つにプロを目指していたわけではないが、大学時代、かなり真剣にサッカーをしていた。高校サッカーのスター選手や、のちにJリーガーや日本代表になる選手とも、真剣勝負の試合をしたことがある(もちろん大敗したが……)。今では年に数回しかボールを蹴らないが、「サッカー談議」はまだまだ盛んだ。かつてのチームメイトやサッカー経験のある友人、知人、時には学生と、サッカーの話をしだすと止まらない。日本代表の批評に始まり、何年のW杯のどの試合の誰のプレーは最高だったとか、しまいには自分の試合の思い出に至るまで、話題は尽きない。

サッカー談議の最中は、実に楽しく豊かな時間が流れる。まさしく道楽である。世界一の競技人口を誇るだけあって、サッカーの話題は国境を超えて盛り上がる。相手の国のスター選手を褒めれば、あっという間に仲良しだ。サッカー談議は、国際交流にも役立つ。過去のW杯の録画は、大切に保管している。気分転換と自分に言い訳をしながら、仕事を押しやり、夜な夜なテレビの前で試合を観戦して、次の談議に備えている。

担当科目 歴史·文化とまちづくり まちづくり調査·解析/景観原論



大学時代に戦った日本代表クラスの選手は、当時慶応大の吉井秀邦氏(現仙台大学准教授)、筑波大から名古屋グランパスエイトで活躍した望月重良氏(現 SC 相模原代表)、元清水エスパルスの興津大三氏、元アビスパ福岡の上野優作氏だそうです。いずれの選手もすでに現役ではありませんが、熱狂的なサッカーファンは覚えているかもしれませんね。なお実際の試合では、0-7など大敗ばかりだったそうです。

味が「馬術」と書くと一般的には優雅なイメージを持たれがちですが、「馬の世話 7 割、練習 3 割」と言われるほど、泥臭い競技です。私は幼少期より身近に馬がいる環境にいたため、お手伝い感覚で馬の世話や引き馬をするうちに乗馬をするようになり、気付けばキャリア30年を超えるベテランとなりました。

現在取り組んでいる標準障害はオリンピック種目にもなっており、45秒間以内に既定の障害を決めらえた順番で飛越、走行し、ミスがなく、早くゴールすることが求められます。勝敗を左右するのは9割方「馬」であ

り、人は「添え物」。騎手に必要なものは、高さやスピードの恐怖を超える馬との信頼関係に尽きます。記録会や学生大会は貸馬によるため、短時間でいかに馬に慣れるかも重要なポイントになります。ちなみに私はなぜか癖の強い暴れ馬と相性が良く、自分以外が失権となり優勝した経験があります。

私の現在の目標は、常に「人馬一体」であること。これを目指し、今後も鞍上に乗り続けるでしょう。

**担当科目** グリーンランドスケープ |・|| 都市環境科学概論

乗馬というとハイソなイメージですが、なれそめは身内の方がコーチをしていたので、動物園に行く感覚で馬場に通っていたそうです。身内にコーチが……やはりハイソですね。現在は、市内のホース倶楽部に所属して月に1、2度乗れたら良いような状況とのこと。平らな地面でもよく転ぶ押田先生ですが、手綱を持ったまま引きずられたことがあるくらいで、完全な落馬(鞍上からきれいに落ちる)の経験はないそうです。信じられませんが。



#### 川田(押田)佳子(准教授)

## 「人馬一体」の 境地を目指して





12月の記録会での雄姿(人馬一体は写せませんでした)



### <sup>仲村成貴(准教授)</sup> ゆるりと ジョギング

昨年の夏、久方ぶりにランニングシューズとウエアを買った。ジョギングを始めようと決心したからだ。購入後、程なくして早朝ジョギングを始めた。それから毎日欠かさず走っている、と書き連ねたいところだが、実は頻繁に休んでいる。さらには、冬に入るとびたりと走らなくなってしまう。昨冬もそうだったが、写由は、無理せずに楽・ウモも走っていない。理由は、無理せずに楽・ゆっくりとしたペースで汗をかいて爽快感に見いてきることを第一の目標にしたからだ。ゆっくりとしたペースで汗をかいて爽快感にいいている場合も楽しみながら走る。脚が乗ら分が乗らない時は走らない。そんな感

じでゆる一く続けていければ良いのだ。

一方で、せっかく始めたのだから、ゆくゆくはレースへ出場したいとも考えている。まずは地元の小江戸川越マラソン、全国各地の大会、そして東京マラソン、ホノルルマラソンなどなど、各地でのんびりと走れればいいな。そういえば、この冬の寒さ対策にと先日ウインドブレーカーを購入したのだが、まだ一度もそれを着てジョギングしたことはない。レース出場はいつになるのやら……。

**担当科目** 構造力学 | · || 地盤力学



まだ一度も着ていないウインドブレーカー



やる気と行動が一致しにくいのは、おじさんによくある話ですが、新年 (2017年) を期しての誓いをお聞きしたところ、「元旦は家族に、初詣ででは神様に、今年こそ小江戸川越マラソン出場を誓いました」とのこと。今年こそ頑張れ!

# 



天野光一(教授) 妻との 天野光一(教授) まち歩き



シャンブルドットでのアペリティフ・パーティー

→ こ十年ほどであるが、妻とフランスの ← 田舎の街を歩くのが楽しみである。フ ランスには「フランスの美しい村(Les plus beau villages de France)」という制度がある。 人口が2,000人未満で、歴史的施設が存在し、 風景が美しいなどの複数の要件を満たすと、 協会が認定するというものである。なにせ田 舎の街なので、レンタカーを走らせ、地図を 頼りにたどり着くわけである。昼ご飯を街角 で楽しみ、その後おもむろに何ということの ない美しい村を歩き回る。私も60を過ぎた が、何と妻と手をつないで歩いている。日本 の街ではこうはいかない。照れくさいという こともあるが、手をつないで歩こうと思う街

があまりない。宿泊もできるだけそんな村の シャンブルドット(B&Bのようなもの)を 選ぶ。ちょっとまち歩きをしてから、おもむ ろに街中のレストランへ食べに行く。もちろ んワインはたっぷりいただく。写真は、シャ ンブルドットでは夕食を出さないからこその 「アペリティフ・パーティー」。

どうです? おしゃれで楽しそうでしょ う。街を楽しんでいるでしょう。「まち」はこ うでなきゃね。

担当科目 社会基盤デザイン プランナーのための会計学



多趣味で有名な天野先生が最近フランスへ足しげく通っているのは知っていましたが、「フ ランスの美しい村」へ行かれているとは。ワインとまちづくりが一緒に体験できる趣味で すね。日本にも「日本で最も美しい村」連合(NPO法人)が、またベルギー、イタリア、韓 国など外国にもあるそうです。日本でも伊豆の松崎町を含めて2、3村へ行かれたそうで すが、「レベルの差」があるようです。たぶん基準が異なりそうなので、これからその辺を 勉強したいとのことです。

年ほど前から愛犬のフレンチブルドッグ **3** (名前は「とうふ」♂3歳) と暮らして います。ペットと共に生活を送るようになっ て以来、「まちあるき」をする機会が増えまし た。最近は、美味しいコーヒーを求めて、妻 と一緒に犬を連れてコーヒースタンド巡りを 楽しんでいます。



コーヒースタンドは、カフェとは違い、テ ークアウトが中心のため、ペットとの「まち あるき」にはもってこいです。しかも、コー ヒースタンドは大通りから一本路地を入った 「まち」の裏手にあったり、閑静な住宅街の中 にひっそりと建っていたりして、「まち」を 散策しながら楽しめるのが特徴です。道中で は、その「まち」に暮らす人々とペットを通 じた会話も弾みます。犬を連れて、コーヒー スタンドに立ち寄り、美味しいコーヒーを嗜 みながら「まちあるき」をするのが、今の私 の趣味、道楽です。

担当科目 建築デザイン演習 景観デザイン演習 まちづくりと職能 ||

いつも同じコーヒースタンドだと飽きるので、インターネットや SNS を活用して、良さ そうなスタンドを探しては「まち」に繰り出しているそうです。例えば、最近コーヒーの街 として知られるようになった江東区の清澄白河。新木場が近いことから倉庫が多く、倉庫 をリノベーションしたギャラリーやショップもあり、それらを巡りながらその「まち」の歴 史を肌で感じつつ、今の「まち」の変化を楽しみながら歩くそう。コーヒースタンドを求め てずいぶん遠くまで出ていくようですよ。



#### 落合正行(助手)

## 愛犬と コーヒー片手に 「まちあるき」





愛犬とコーヒーと私



田島洋輔(助手)

## 愛娘と自然を 満喫する



札幌市円山動物園にて



牟田聡子(助手)

## 家庭菜園の ある生活

🃭 を建てたら家庭菜園をする!」が私 **家** の野望でありました。周囲からの「長 くは続かないよ」という声にも耳を傾けず、 野望を達成してからはや8年。わが家の大規 模家庭菜園は、夏はトマト、キュウリ、ナス に空豆、冬は白菜、ブロッコリー、ホウレン ソウなどなど。常時十数種類の野菜が、芽を

▲ の私の一番の道楽は、愛娘と自然を満 7 喫することです。

彼女は1歳8カ月ですが、非常に動植物に 対する興味関心が高く、ほっとくと無心で自 然と触れ合っています。今のところは、花弁 がある植物はすべて「はな」、地面を歩くもの はすべて「わんわん」、空を飛ぶものはすべて 「ちょうちょ」となっていますが、「好きこそ ものの上手なれ」という言葉にあるように、 人は好きなものに対しては熱心に努力するの で、きっとすぐに私を超えてさまざまな知識 を蓄えていくことと思います。

今のところ、動物園や植物園などの都市 内の自然ばかりなので、次のステップとして は、彼女と一緒に山や川などの大自然の中に 飛び出していきたいと思います。私自身も自 然が大好きなので、来年の夏には、ベビーキ ャリアを購入して、夏山登山に繰り出したい と思っています!

担当科目 都市・地域デザイン演習

水の中の生き物はみんな「ちゃかな」で、最近は空を飛ぶものは「ちょうちょ」に加え、「へ リポ(ヘリコプター)」と「ひこき(飛行機)」をマスターしたそうです。親としては、このま ま自然を好きになってほしいですが、そのためには自然との触れ合い方や楽しみ方をしっ かりと子どもと一緒にやってみせながら、娘とともに自然の楽しさやありがたさを分かち 合えるようにしていくことが重要だと思っているそうです。



出し、実をつけるようになりました。

2月になると畑を耕し、3月にジャガイモ を植え、4月末には夏野菜を植え、真夏真っ 盛りの8月にナスの剪定をし、9月にジャガ イモを掘り起こし……、と季節を感じるのは すべて畑仕事から。子どもたちもいつの間に か、「そろそろお庭でバーベキューしたいな ぁ」「プールしたいなぁ」とその季節にしかで きないイベントや遊びを思い出すようになり ました。また、自宅周囲を散歩している、私 よりも上の世代の方もわが家の菜園には興味 津々のようで、畑仕事をしているとよくお声 をかけてくださいます。核家族で上の世代の

方のお話をうかがう機会の少ない私や子ども たちにとって、菜園を通したこの交流は、素 敵な時間になっています。

担当科目 まちづくりワークショップ | 福祉環境実験 ユニバーサルデザイン演習



わが家の家庭菜園~夏編~(手前からナス、トマト、奥 にジャガイモ、バジル)



たくさんの野菜をつくられている牟田先生の将来の夢は、「仕事をリタイアしたら畑面積 をもっと増やせるところに引っ越し、自給自足の生活をすること」だそうです。これまで 8年も続いた大きな要因は、第二子が生まれ、この子が菜園から直接野菜を摘み、食して いる姿を見て、「子どものために続けよう」と感じたからだそうです。美しい光景が目に浮 かびますね。家庭菜園を始める方にアドバイスは「きっかけは何でも良いと思いますが、 継続する理由は『誰かのため』であることが、長く続けられる秘訣かな」とのこと。

■ 私は、普通に好きになってきました。 発端は、諸般の事情で私しか洗濯をする時間 がない、という追い込まれた状況をいくつか くぐり抜けていくうちにほぼ完全に洗濯係に なったことです。最初は、何となく手順どお りにやっていたのですが、家族のリクエスト などに応えて、いろいろ工夫をするうちに面 白くなってきました。例えば、家族のアレル ギーに対応するために、どの洗剤を使えばい いのか、部分洗剤を使うのか、柔軟剤はどれ がいいのか、それらの量と洗濯機の設定はど うするのかなど洗濯・乾燥に関することだけ でもいろいろあります。さらに、機械乾燥す

**上と** さんは、洗濯は好きですか? るのか、自然乾燥ではどこにどのように干す のか、といったことも大切です。もっと言え ば、洗濯するためにいつのタイミングで洗濯 物を出してもらうのか、その時にどのような 状態(裏返しはダメなど)で出すのか、そも そも洗濯乾燥機自体はどれがいいのか……き りがありませんが、それらをいろいろ試しな がら、家族に注文をつけることも普通に好き になってきました。

> 担当科目 福祉のまちづくり 福祉環境実験 住宅・都市のユニバーサルデザイン演習

さて、いろいろな蘊蓄が出ましたが、「フワッと感」が出る機械乾燥に適しているのは、タ オルや肌に触れるようなもの。ワイシャツや薄い手ぬぐいなどはアイロンの手間が増える ので NG だそうです。自然乾燥の場は、雨が降っても困らない室内干しだそうです。お 薦めの洗剤は、聞きに来れば教えてくれるそう。いい加減に洗濯物を出すご家族には、厳 しい注意をなさるそうです。



## 依田光正(准教授)





お気に入りの洗剤、リンス、洗濯乾燥機

# おる意味へ低事人間



#### 岡田智秀(教授)

## "趣味が転じて 実業となす" サーフィンライフ

**私** の日課は天気図分析である。気象学が 趣味というわけではない。グッドウエ ーブの訪れを予測するためだ。

趣味のサーフィンは中学時代から始め、 大学時代に一時中断したが、8年前にハワイ 大学に1年ほど出向した際に復活を遂げ、帰 国後も毎週末サーフスポットに足を運ぶ生活 を送っている。その行き先は、できるだけ大 きな波が打ち寄せる海岸となるが、インター ネットの波情報を当てにすると混雑極まりな い。急増する衝突事故を避けたいので、自分 の洞察力を信じて冒頭の天気図分析に浸るわ けである。

グッドウエーブの発生は、低気圧や台風の 進路をはじめ、風向・風力・潮位や海岸地形 等を把握する必要があり、それらを通じて海岸構造物や海岸地域の土地利用等の諸問題をも認識することになる。こうした諸問題は海岸地域のまちづくりのあり方にも通じることになり、これまでに論文等で著した海岸地域に向けた問題提起と改善提案は、日本都市計画学会年間優秀論文賞(2011年)や東京新聞・毎日新聞の特集記事(2013年)、専門書『ようこそドボク学科へ!』(学芸出版、2015年)などに掲載され、"趣味が転じて実業となす"という好循環を生んでいる。



景観デザイン演習 まちづくりワークショップ | · ||



オーバヘッドサイズのグッドウエーブに乗る筆者

「サーフィンのベストシーズンはいつでしょうか?」と投げかけると、「12月の厳寒期を中心に3月くらいまで」との答え。気候の良い夏の時期だけ出現するマナー・ルール知らずの人たちによる衝突事故が急増するので、岡田先生にとって夏季はオフシーズンだそうです。厳寒期は本当にサーフィンを極めたいディープな人たちが中心になるので、海上ではお互いに挨拶を交わし、波も譲り合いながら有意義な時間を過ごせるそう。厚手のウエットスーツとともに、防寒グローブと防寒ブーツを身にまとった瞬間、気持ちが引き締まるので、「その緊張感もサイコー」とのことです。





#### 後藤 浩(教授)

## こういうものも 道楽といえば 道楽



50回献血達成時に授与される記念品のガラス器(工芸作家による手作り品)

動電車の中で本稿の内容を考えた。原稿依頼の趣旨が「趣味・道楽」ということで、正直、困ったと感じた。そもそも飽きっぽい性格であり、ひとつのことが長く続いた記憶がない。はるか30年以上前の部活動で卓球をやっていたが、スキルは「素人よりは……」頻度も「温泉で……」程度で、本趣旨に該当しない。車窓の風景を見ながら「どうしよう」と思いを巡らせ、いくつか気がついた。

まじめな話で面白くもないが、卒業研究時、河川工学の実験がとても面白く、ほぼ毎日、実験をやっていた。その結果が大学教員としての礎であると感じている。自前の研究室を持ってからは、研究に現地調査を加えた。とくに東日本大震災に由来する調査(海

岸林と津波の関係)で、東北地域および全国 の海岸を学生たちと歩いて回り、現場を見る ことの大切さを実感した。両者は、研究のモ チベーションとなり今でも続いている。

「他にあるか?」と自問自答するとひとつ、二十余年続いているものがあった。献血である。「何それ?」と多くの人が感じると思うが、献血センター職員によれば、この年齢で全血献血50回を数える人は、かなり貴重な人材だそうである。なお、これが道楽かどうかは、私にもよくわからない。

**担当科目** 水理学 測量学 社会基盤学概論



50回の献血でこんな立派な記念品がいただけるとは思ってもいませんでした。献血に至った動機としては、「工学をやっている身分として『人の役に立つ』ためによくわからない慈善団体に寄付するよりは困った人の役に立っているのでは」とのこと、実に高尚です。また、健康管理と各種数値の変化を見て、落胆したりうれしかったり(理系ですね)、そして、得られた数値をもとにして、目標を立てて生活できるのだそう。なお、その数値目標をクリアするのは結構厳しいとのこと。お互いさまです。

#### 高村義晴(教授)

## 製 私の趣味と

🧲 行や読書など、これまでであれば「趣 **が、**味」と答えていたが、最近は、とんと 時間がない。夫婦での旅行も義理を欠いてい る。東日本被災地沿岸、各地の市町村、民間 企業とのタイアップなど、欲張って仕事を入 れてしまう。人がいい。頼まれてしまうと 「嫌」と言えない。ただ相手に言わせると、 「一緒にやろうと誘ったのはそちらだ」。結局 自分で自分を忙しくさせているのだから、道 楽といえば道楽といえる。

長年、都市計画やまちづくりの現場にあ って、これまでのやり方が壁に突き当たって いる。そう感じてきた。これまであった確固 とした信念が遠くに逃げ始めているのだ。そ の答えは、現場にしかない。実践や挑戦によ



民間・地域の関係づくり

ってしか導き出せない。最後の自分の意地と して、何とか新たな地平の一端を見いだした い。都市の暮らし、仕事、楽しみといった新

たな基軸を持ち込みたい。人と人との結びつ き、企業と地域とのかかわりに着目したい。 女房孝行、親孝行にも気を配りながら道楽的 な発想と好奇心、自分のスタイルにこだわっ ていくほかない。

とにかく「嫌」と言えない。それゆえ自分を忙しくしている。ご本人の言う通り、これは趣 味というより道楽ですね。「嫌」と言えない原動力は何かとお尋ねすると、「それは『意地』の ような気がしています」とのこと。「長年都市計画やまちづくりをやってきて、それが壁に 突き当たり、不如意になっている現在、矜持や使命感というより『まちづくり屋としての 意地』のような気がします」と、カッコよくお答えいただきました。



担当科目 交通総論 都市計画I まちづくり事業制度論」



田中 賢(教授) うさ道楽



わが家に来た当時の「きなこ」(生後2カ月)

▮ 趣味な私の唯一の道楽は『うさ道楽』 **です。** 

2015年3月、妻の強い要望で、手のひらに 載るほど小さなウサギがわが家の一員になり ました。造形的な可愛らしさやユーモラスな 動きも魅力ですが……、さすが史上最弱! 捕食される側の生き物だけあって、空気を読 む術は一級です。意外に頭は良く、仕事がち ょうど一息ついた、その瞬間を見計らい、ウ サギサークルに取り付けたドアベルをチンと 鳴らして私を遊びに誘います。感情表現もス トレートで、自分の思うように生きる事に微 塵の迷いもない姿には勇気をもらいます。

ウサギなどのエキゾチックアニマルは、気 軽に飼う方も多いのですが、実際は飼育が難 しく、研究途上の生き物なのです。私が十数 年前に企画・研究した犬や猫を対象としたペ ット共生住宅は目覚ましい発展を遂げていま すが、エキゾチックアニマルとの共生住宅に

ついては、ま ったく研究さ れておらず手 付かずの分野 のため、研究 者として魅力 を感じていま す(先日は、 主食である牧 草の摂食量を 計測し、併せ



製作した牧草入れ

て摂食姿勢をビデオ解析して、新たな牧草入 れを製作しました)。「癒やし」と「研究欲」 が満たされる私の『うさ道楽』はまだまだ奥 が深いです。

担当科目 ユニバーサルデザイン 建築デザイン演習 都市・地域デザイン演習



エキゾチックアニマルとは、犬と猫以外の飼育できるウサギ、ハムスター、イグアナなど 動物全般を指すそうで、現在もペットとして人気が高いそうです。きなこちゃんを飼うき っかけは、奥さまの愛犬が亡くなって悲しい思いをしたため、犬猫以外の「ウサギ」に目が いったそうです。また、ウサギを飼うに当たって奥さまは猛勉強して万全の構えで迎え入 れ、その結果、現在では一日に200人が訪れるウサギのブロガーになられました。なお、 「人間のエゴでペットを飼うからには、全力で動物を幸せにする義務があり、最後まで生 命に責任を持つ覚悟が必要だ」と熱く語っていただきました。

# 回》。



#### 青木和夫(教授)

## 旬の野菜を楽しめる 家庭菜園



畑仕事には麦わら帽子が似合います

**私** の長く続いている趣味は家庭菜園です。 都内から茨城県に引っ越してきた折に、近くの地主さんから近所の人たちと畑を借りたのがきっかけでしたので、35年くらい続いています。雑草だらけの土地をスコップや鍬で耕して、お決まりのジャガイモやサツマイモを植えたのが始まりでしたが、何年かたつと一人抜け二人抜け、だんだん畑が放置されるようになり、それらを全部引き継いだのでかなり広い畑になってしまいました。

畑仕事の楽しみは、土いじりに始まって、 まいた種から芽が出た時、だんだんと成長し てゆく様子、そして収穫です。毎年でき方が 違うのは、気候や植える時期の違いのようで す。野菜をつくるのには苗や肥料代などの費用がかかり、収穫時はちょうど旬で安く出回る時期なので、コスト的にはあまり得ではありません。しかし、採れたての新玉ねぎなどは甘くて「こんな美味しいものがあるのか」というくらいの感動で、野菜の美味しい旬がわかったのが最大の収穫でした。最近では、八百屋に出回らない地場野菜やめずらしい種類のジャガイモなどをつくるのが楽しみです。

**担当科目** 地域健康づくり論 統計学 まちづくりワークショップ |



35年間続けられたのは、「土いじりが子どもの頃から好きだった」に尽きるそうです。これから家庭菜園をやろうという人へのアドバイスは、「忙しい時間を割いて菜園の手入れをするには、頑張らないこと。多少できが悪くても、草が生えていてもそれは自然のことと思えば無理をしなくなる。また、無農薬で野菜をつくるのは虫と雑草との戦いなので、半分は虫にあげるくらいのおおらかな気持ちでいれば、無理なく続けられる」と、まさに適切なお言葉でした。



#### 八藤後 猛(教授) オーディオ

学生から秋葉原を徘徊する、当時でいう「ラジオ少年」でした。FM 放送の録音(エアチェック)に没頭し、録音タイマーを自作するまでは早く学校から帰ったりとか。高校入学後、給与のほとんどをオーディオにつぎ込んでいる数学の先生の影響を受け、趣味がヒートアップ。生録ブームもあって、当時消えかけていた蒸気機関車を追いかけて、先生と日本中をあっちこっち。大学生になって、後に伝説となる SONY TC-D5M (写真)を入手。

社会人になってからは、部屋にでっかいス ピーカーを置いて、オーケストラのひとつひ とつの楽器の聞き分けができるとか、聞いただけでピアノのブランドがわかるとか、自己満足。CD プレーヤーが出現する以前、デジタル録音というものに興味を持ち、音のデジタル記録をビデオテープに記録するとか(なんだか意味不明ですよね)、この頃になると家の中は実験室と化します。

結婚後、こうした生活は矯正され、集めた機器も子どものスペース確保のため捨てられてしまいました。今や教科書どおり片耳8,000Hz - 40dB(2年生以上ならわかるよね)と、順調に老化し昔ほど音楽が楽しくなくなってしまいました。

担当科目 まちづくり関連法規 |

住宅・都市のユニバーサルデザイン 建築計画 |

SONY TC-D5M の何が伝説かというと、前機種からいきなり小型化したうえで、性能は 従前のものをはるかに上回り、この後継機種が出なかったからとのことです。1979年ま で製造販売され、同年に世界を席巻した Walkman(ウォークマン)の初代が発売されま した。SONY はこの Walkman でポータブルオーティオ界の雄となりますが、「本機はそ の技術の下地をつくった」と教えていただきました。





当時はこんな格好で活動してました



#### 横内憲久(特任教授)

## ストレス解消は 手帳に 書くこと

地 味や道楽は、仕事以外で長く継続的に 行っているモノやコトをいうのでしょうね。となると、元来ひとつのことをやり通 せない性格で、何かをコレクションすること にも興味がなく、無趣味と言わざるを得ません。ただ、文房具は昔から大好きで、かつて の銀座伊東屋は、私にとってのキディランドでした。6月に改装した今の伊東屋は文房具 店から高級セレクトショップになりましたの で、文房具は丸善(日本橋店か丸の内本店)がお薦めです。

コレクションではなくて自然と溜まったのは「手帳」です。スケジュール管理から会議メモ、アイデア、備忘はすべて手帳に記述してあります。スケジュール関係は、1980年代から保管しています。しかも、毎日持ち歩く文庫大のシステムダイアリー、これのバック



3種とも同じことが書いてある手帳 左:文庫本型システムダイアリー 中:カレンダー型月間手帳 右:バイブル型システム手帳 記載には5色で分けてあるので、一目で何の予定かが(私には)わかる

アップのための月間手帳とバイブルサイズの 手帳は自宅に置きます。この3種類に同じこ とを書いています。1990年から始めた会議・ アイデア等を書く手帳は、現在58冊目が稼働 中です。文字を書くことは、考えを整理でき たり、本音を書けたり、ストレス解消になり ます。見せられませんが。 **担当科目** ウォーターフロント計画 都市・地域デザイン演習



2000 年から 2016 年までの手帳の表紙



「こんなことして何が楽しいのか?」とよく聞かれるが、満足感はあります。 3 冊の手帳に書くのは、「もし1 冊無くしても予備がすぐ機能するから」というリスク管理ですが、三十数年間は1回も無くしたことはない(それ以前も記憶にはない)。手帳がないと明日のこともまったくわからない(記憶に残らない)ので、手帳は命の7番目くらいに重要です。

**自** 分の耳に装着したイヤホンからは、航空管制官とパイロットの交信がひっきりなしに飛び込んでくる。

"Speed bird 006 wind 030 at 7 runway 34 left cleared for takeoff"

滑走路へ進入する Boeing787-9型機の着陸 灯がともり、ロールスロイス製トレントエン ジンが唸り始めた。瞬く間にカメラのファイ ンダーいっぱいにブリティッシュエアウェイ ズの機体が写り込んできた。思わずシャッタ ーを切る手に力が入る。



桜の中のユナイテッド航空

ここは、空港外周にある撮影ポイント。旅客機を四季折々の風景に絡ませ、空に舞う一瞬をさまざまなアングルで切り取る。自分が思い描いた構図で撮影できた時の高揚感は何ものにも代え難い。

私がエアラインの世界へ足を踏み入れたのは中学生の頃。本屋で何気なく手に取った専門誌がきっかけであった。幼少の頃は、いわゆる"はたらく車"が大好きで、穴が開くほど絵本や図鑑を読み返していた。その延長に今の趣味があるのだと思う。

それから数十年がたち、エンジン音を聞くだけで旅客機の機種がわかるようにもなった。素直に認めたくはないけれど、マニアの領域に達している。あっ、着陸してきたのはエティハド航空の特別塗装機だ。

担当科目 測量実習

コンピューター演習 ワークショップ ||

飛行機好きは飛行機であれば何でも好きなのかと思いますが、ご本人は「旅客機以外まったく興味がない」 そうです。 その理由は不明なようですが、旅客機をいろいろな場所で撮っているうちに写真も趣味になったということです。現在の趣味は 「60% が飛行機、40% が写真」だそうです。



#### 西山孝樹(助手)

## 二度とない 一瞬を切り取る



地方空港は雄大な眺めも魅力のひとつ(写真は静岡空港)

#### 1. 全体状況

日本経済団体連合会(経団連)は「採用選考に関する指針」の中で、今年度の新卒者採用(平成29年4月入社)について、3月1日以降に採用広報活動(会社説明会等)、6月1日以降に採用選考活動(採用試験)、10月1日以降に採用内定、というスケジュールを提示しました。経団連に加盟する企業はこのスケジュールに沿って採用選考することになっていましたが、経団連非加盟の企業を中心として、実際には多くの企業がこれよりも早い日程で実質的な選考が進められ

表 1 就職,進学状況(平成29年1月31日現在)

	男子	女子	合計
在籍者数	59人	14人	73人
卒業見込者数	52人	13人	65人
就職·進学希望者数	52人	13人	65人
就職者数	46人	8人	54人
進学者数	4人	4人	8人
決定率*	96.1%	92.3%	95.4%

※決定率=(就職者数+進学者数)/就職·進学希望者数

ました。官公庁では6月7日の国家公務員総合職第1次試験を皮切りに、都道府県庁、政令指定都市、国家公務員一般職、市区町村でそれぞれ選考が進められてきました。各所・団体・企業の新卒者の採用意欲が高いこともあり、創設4年目で初めての卒業者を輩出する本学科にも多くの求人をいただきました。

#### 2. 本学科の状況

本学科では、大学本部や理工学部で主催する行事への参加推奨だけでなく、授業(まちづくりと職能 I・II、インターンシップ、特殊講義 I)、講演会、業界・企業紹介(企業セミナー)、技術士試験対策講座、公務員試験直前講座といった学科独自のプログラムや、志望先に応じた個別指導・相談を通じて、学生のキャリア支援および就職活動をサポートしてきました。表1に示すように、今年度の決定率(平成29年1月31日現在)は95.4%であり、本学科1期生の就職は堅調に推移してきました。図1に就職先の業種別割合(進学含む)、表2に就職・進学先一覧に示します。公務員として官公庁への就職者が16名(26%)ともっとも多く、学科設立時に掲げた目標をほぼ達成できたといえます。官公庁以外では、不動産11名(18%)、建築設備7名(11%)、建設コンサルタント・建築設計事務所5名(8%)、住宅5名(8%)、

表 2 就職:進学先一覧(平成29年1月31日現在)

業種	企業・団体名	人数
公務員	経済産業省、青森県庁、福島県庁、千葉市役所、市川市役所、川口市役所、越谷市役所、 船橋市役所、福島市役所、横須賀市役所、足立区役所、板橋区役所、大田区役所、 千代田区役所、目黒区役所	16人
不動産	(独)都市再生機構、(株)日本土地建物、(株)大京、(株)エイブル、スターツコーポレーション(株)、大東建託(株)、大和ライフネクスト(株)、東建コーポレーション(株)、トーセイ(株)、野村不動産パートナーズ(株)	11人
建設コンサルタント・ 建築設計事務所	(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)日本水工コンサルタント、昭和(株)、(有)カンダ設計、 (株)丹青社	5人
建設(ゼネコン)	(株)奥村組、(株)フジタ、児玉コンクリート工業(株)、杉本興業(株)	4人
住宅	大和ハウス工業(株)、茨城セキスイハイム(株)、トヨタホームちば(株)、 (株)レジテックコーポレーション	5人
サービス(運輸)	東京地下鉄㈱、東日本旅客鉄道㈱	2人
建築設備	スターツファシリティーサービス(株)、ジョンソンコントロールズ(株)、 JR 東日本ビルテック(株)、大和リース(株)	7人
建設資材	(株)藤井産業	1人
造園	(株)石勝エクステリア	1人
上記以外	(株) JAL グランドサービス、(株)スープストックトーキョー	2人
進学	日本大学大学院理工学研究科修士課程まちづくり工学専攻	8人

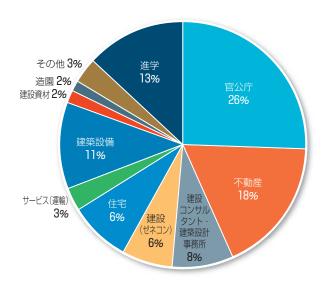


図1 業種別割合

ゼネコン4名(6%)、運輸、建設資材、造園といった幅広い業種へ就職が決定しました。関連業種の多彩な「まちづくり」業務に相応した結果であり、本学科の特徴が如実に表れたといえます。さらには、平成29年4月設立予定の大学院修士課程まちづくり工学専攻への進学者も8名(13%)に上ります。

#### 【第1期生へ】

皆さんは、まちづくり工学科の1期生として学科の 先輩がいない状況下でありつつも、周りの方々のサポートを受けながら自分で将来の道を拓きました。それ ぞれの就職先で頑張っていただくことはもちろん、近 い将来、学科の後輩たちへの就職支援にぜひご協力い ただければと思います。

#### 3. 次年度の就職活動

本年度と同様に、次年度の新卒者採用(平成30年4月入社)を対象とした経団連加盟企業の採用広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降、採用内定は10月1日以降とすることが決まっています。本学科では、表3に示す企業・団体からのご協力の下で企業セミナーを開催し、延べ262名の学生が参加しました。

#### 【新4年生へ】

駿河台キャンパス5号館2階のまちづくり工学科事 務室前には、各企業の説明会や採用試験の案内を掲示 しています。各種パンフレット等(持ち帰り自由)も 置いてあります。事務室内では求人票を閲覧できます し、求人の中には本学科学生指定の学校推薦枠も届い ています。大いに活用してください。皆さんの中には 自分が志望する進路・職種をしっかりと定め、会社説 明会への参加、場合によっては先の段階へ臨んでいる 人も多くいると思います。粘り強く、自分の将来を切 り拓く努力を続けてください。一方でまだ自分の志望 を定められていない人は、今すぐに会社説明会へ参加 するなどして活動を開始してください。自分で動かな い限り、情報は入手できませんし、選択肢は広がりま せん。お茶の水校舎2階にある就職指導課では、キャ リアアドバイザーが常駐しており、就職活動全般につ いての相談、エントリーシートや履歴書の添削、面接 対策等の指導が受けられます。ゼミ・卒研指導の教員 へは進捗状況を随時報告してください。また、学科の 就職指導担当教員も相談に応じますので、遠慮なく申 し出てください。

表 3 企業セミナー参加企業・団体

業種	企業・団体名
不動産	鹿島建物総合管理(株)、(一財)建設物価調査会、新日鉄興和不動産(株)、(独都市再生機構、大京グループ
建設コンサルタント・建築設計事務所	(株)オリエンタルコンサルタンツ、オリジナル設計(株)、(株)建設技術研究所、国際航業(株)、 大日本コンサルタント(株)、玉野総合コンサルタント(株)、(株)千代田コンサルタント、 (株)福山コンサルタント、(株) UR リンケージ、リテックエンジニアリング(株)
建設(ゼネコン)	大林道路(株)、(株)奥村組、鹿島建設(株)、(株)熊谷組、佐藤工業(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)フジタ
住宅	住友林業ホームテック(株)、大和ハウス工業(株)、三井ホーム(株)
サービス(運輸)・ 製造・設備・福祉	アビリティーズ・ケアネット(株)、(株)コトブキ、(株)住軽日軽エンジニアリング、 東電タウンプランニング(株)、東日本旅客鉄道(株)

#### 平成28年度 まちづくり工学科研究業績

#### 査読付き論文

後藤浩・依田光正・城内博・竹澤三雄,人間の視覚系への影響を及ぼす水面からの乱反射を考慮した親水空間設計上の留意点,第26回海洋工学シンポジウム,2016.3

田島洋輔・齋藤久・野中俊文・柳川久、北海道夕張地域におけるテングコウモリ Murina hilgendorfi の越冬記録、森林野生動物研究会誌、41号、2016.3

渡辺八重子・青木和夫・中谷直史,看護業務の勤務帯別労働負担と疲労に関する研究,バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌,18(1),pp.19-26,2016.4.1

Jonai H, Cucueco MT, Ta GC: Comparative Analysis, The GHS implementation in EU, USA and Asia (Philippines, Malaysia and Japan), J. Science of Labour, 90, No.6, pp.183-189, 2016.4.10

上田萌子・大平和弘・押田佳子・上甫木昭春, 鹿児島県錦江町周辺における「モイドン」の立地と存続状況に関する研究, ランドスケープ研究, 79(5), pp.659-664, 2016.5

中田弾・牟田聡子・八藤後猛、宿泊施設の建物種別の違いによるバリアフリー化に関する考察:宿泊施設におけるバリアフリー化に関する研究その2、日本建築学会計画系論文集、81(724)、pp.1251-1258、2016.6

H. Gotoh, M. Takezawa, R. Hanada, T. Yamamoto: Flood risk management for schools in the lowland of Tokyo, Japan, International conference on Urban Water Systems and Floods 2016 and FRIAR 2016, 2016.6.28

M. Takezawa, H.Gotoh, R. Hanada, O. Ishikawa, M. Tanaka, T. Yamamoto: Relation between Ishikari River mouth stability and construction of Ishikari Bay New Port, International Symposium on River Sedimentation 2016, 2016.9.19

落合正行・岡田智秀, 都市部における住民自治組織規模ごとにみる活動拠点施設の自主運営のあり方に関する研究―川崎市の町内会館・自治会館を対象として―, 日本建築学会計画系論文集, 第81巻第730号, pp.2615-2624, 2016.12.30

小泉雄大・横内憲久・岡田智秀,水田を中心とする農村景観保全に向けた「コンパクトファーム」の提案と実現化方策に関する研究一岐阜県恵那市岩村町富田地区をケーススタディとして一、土木学会論文集,2017.1.6

落合正行, ワカミヤハイツ―あだち農まちプロジェクトー, 日本建築学会『作品選集2017』, 2017.3

#### ポスター発表

Asako Yoda, Yuichiro Ichikawa, Keisuke Saito, Mitsumasa Yoda, Satoru Nebuya: Effects of the monitoring conditions during a picture drawing tasks by using a new technology of lung function measurement, 31st International Congress of Psychology ICP2016, 2016.7.28

秋間涼太・岡田智秀・横内憲久・小泉雄大・瀧澤 慎太郎・鈴木涼太,中山間地域活性化に向けた林 業支援策に関する研究―(その1)「木の駅プロ ジェクト」に携わる行政ヒアリングを通じて―, 日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

柴田藍理・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・尾形 穂乃花・西澤真依子, 江戸における花見空間の構成と継承状況に関する研究―(その1) 花見名所の変容に着目して―, 第60回日本大学理工学部学 術講演会, 2016.12.3

西澤真依子・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・尾 形穂乃花・柴田藍理, 江戸における花見空間の構 成と継承状況に関する研究—(その2) 花見描写 より捉えた空間整備について—, 第60回日本大学 理工学部学術講演会, 2016.12.3

楠崎悠加・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・入江 皓多, 高尾山におけるオーバーユースの実態およ び適正利用のあり方に関する研究,第60回日本大 学理工学部学術講演会,2016.12.3

加藤有紗・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・兼井 美咲,「新ウォーターフロント開発」における新 たなみなとまちづくりの提案―建物防御による津 波対策―,第60回日本大学理工学部学術講演会, 2016.12.3

清水時子・牟田聡子・八藤後猛,鉄道駅での手作りサインから見るサイン計画の現状,第60回日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

#### 口頭発表

仲村成貴・塚崎翔太・関文夫,実測記録に基づく バランスド扁平アーチ構造の振動特性把握一下部 工底面地盤の影響—,第43回土木学会関東支部技 術研究発表会,2016.3

西山孝樹・天野光一,5 学協会の査読付論文にみる温泉地のまちづくりに関する既往研究調査,第43回土木学会関東支部技術研究発表会,2016.3

森紗耶・横内憲久・岡田智秀・関根博史,住商混在地域における児童の地域認識に関する研究,土木学会第53回土木計画学研究発表会,2016.5.28

西山孝樹・天野光一, 古都鎌倉の観光資源「段葛」の成立時期とその後の展開, 土木学会第36回 土木史研究発表会, 2016.6

阿部貴弘,戦後土木施設の歴史·文化的価値に関する基礎的研究(その2),土木学会第36回土木史研究発表会,2016.6

木村優介・阿部貴弘・大沢昌玄・土井祥子, 戦後 都市施設の歴史・文化的価値の評価基準に関する 研究 (その1), 土木学会第36回土木史研究発表 会, 2016.6

阿部貴弘・小野田滋,まち歩き講座『土木遺産を訪ねて』の実践を通して見たインフラツーリズムの可能性,土木学会第36回土木史研究発表会,2016.6

東出成記・知野泰明・阿部貴弘・後藤光亀・伊納浩・色川篤, 重要文化財石井閘門の補修工事報告, 土木学会第36回土木史研究発表会, 2016.6

柴田隆史・斉藤進・青木和夫・岡田衛・窪田悟・ 栗田泰市郎・外山みどり・久武雄三・宮本雅 之・吉武良治、子どものICT活用人間工学ガイ ドラインの概要、日本人間工学会第57回大会、 2016 6 25

横井元治・青木和夫・堀内邦雄,自動二輪車の低速走行におけるライダーの挙動に関する研究―熟練度による差異の分析―,日本人間工学会第57回大会,2016.6.25

後藤浩・依田光正・城内博・竹澤三雄、人間の視覚への影響を及ぼす水面からの光の乱反射を考慮した親水空間設計上の留意点、第29回日本沿岸域学会研究討論会、2016.7.16

落合正行, ワカミヤハイツーあだち農まちプロジェクトー, 2016年度日本建築学会関東支部建築計画専門研究委員会, 2016.7.29

植田瑞昌・長谷川万由美・八藤後猛・牟田聡子, 子育てに関するマーク・サインの認知度一公共空間におけるシンボルマークに関する研究一,日本福祉のまちづくり学会全国大会,2016.8

牟田聡子・八藤後猛・植田瑞昌, 妊娠期から育児 期における生活実態と妊娠期の事故―実態に関す る研究 妊娠期から育児期における環境整備に関 する基礎研究 その1,2016年度日本建築学会大 会(九州),2016.8

牟田聡子・八藤後猛・植田瑞昌, 妊娠期の日常 生活動作の困難度と事故実態に関する研究 妊 娠期から育児期における環境整備に関する基礎研 究 その 2, 2016年度日本建築学会大会 (九州), 2016.8

牟田聡子・八藤後猛・植田瑞昌, 妊娠期の住環境と日常生活動作の困難度及び事故実態に関する研究 妊娠期から育児期における環境整備に関する基礎研究 その3,2016年度日本建築学会大会(九州),2016.8

田中賢,盗聴・盗撮の危機回避策に関する研究, 2016年度日本建築学会大会(九州), 2016.8

柴田藍理・松下依里香・横内憲久・岡田智秀・押田佳子、緑のまちづくりにおける壁面緑化のあり方に関する研究―歩行者視点より捉えた緑視ユニットの評価,2016年度日本建築学会大会(九州),2016.8

中原真緒・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・土屋光太郎,「ワテラス」における学生のまちづくり参加のあり方に関する研究―(その2)周辺町会の活動状況と取り組みに対する評価,2016年度日本建築学会大会(九州),2016.8

落合正行・杉本将平, ワカミヤハイツ―あだち農まちプロジェクト―, 2016年度日本建築学会大会(九州), 2016.8

Naofumi Nakaya, Eri Suzuki, Akino Yoshida,

Shogo Sekikawa, Makoto Nakamura, Keita Sato, Kenji Matsumae, Satoshi Watanabe, Masashi Tomita, Yukio Mori, Naruki Shirahama, Kazunori Miyamoto, Takayuki Abe, Tomoki Okajima, Ayumi Takizawa, Kazuo Aoki : Development of an Unintended Needle Dislodgement Detection System Using Electrodes without Contacting Blood, 38th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 2016.8.19

西山孝樹・天野光一・阿部貴弘・松林玄、旅行・宿泊プランからみた現代における「湯治」の実態、土木学会平成28年度全国大会第71回年次学術講演会、2016.9

後藤浩・依田光正・城内博・竹澤三雄, 人間の視覚への影響を及ぼす水面からの光の乱反射を考慮した親水空間設計法の考察, 土木学会平成28年度全国大会第71回年次学術講演会, 2016.9

小泉雄大・横内憲久・岡田智秀, 農村景観保全に向けた「コンパクトファーム」の提案と実現化方策に関する研究—(その2)実施主体別に見た事業プロセスの検討—, 土木学会平成28年度全国大会第71回年次学術講演会, 2016.9

水石知佳・横内憲久・岡田智秀・鴨諸一, 日常利用と防災機能を有する海岸防災施設造成のあり方に関する研究―静岡県袋井市浅羽南地区の「湊命山」造成の事前協議に着目して一, 土木学会平成28年度全国大会第71回年次学術講演会, 2016.9

森紗耶・横内憲久・岡田智秀・関根博史,住商混在地域における児童の地域認識に関する研究―東京都大田区大森北地区の児童の「お気に入りの場所」について―,土木学会平成28年度全国大会第71回年次学術講演会,2016.9

仲村成貴・塚崎翔太・関文夫,実測記録に基づく バランスド扁平アーチ構造の振動特性把握一下部 工周面地盤の影響一,土木学会平成28年度全国大 会第71回年次学術講演会,2016.9

林葉子・スパルティアニ・アティン・青木和夫・ 熊谷秋三、日本に滞在する学部留学生と日本人学 生との精神健康調査および生活調査の比較、第32 回日本ストレス学会学術総会、2016.10.29

石松玲・天野光一・西山孝樹, 空港がまちにもたらす効果とその可能性について, 第60回日本大学理工学部学術講演会, 2016.12.3

尾崎直弘・天野光一・西山孝樹、パークレットに関する基礎的研究―サンフランシスコを事例として一、第60回日本大学理工学部学術講演会、2016.12.3

佐々木凌・天野光一・西山孝樹, 熱海市における観光客数の回復要因一飲食店の動向を事例として一, 第60回日本大学理工学部学術講演会, 2016.12.3

高野秀太・天野光一・西山孝樹, フランスの温泉 療養における社会保障制度とその事例, 第60回日 本大学理工学部学術講演会, 2016.12.3

横井悠・天野光一・西山孝樹, 特命全権大使がみたアメリカの社会基盤施設に関する研究, 第60回日本大学理工学部学術講演会, 2016.12.3

渡辺万紀子・天野光一・西山孝樹,中間領域における雰囲気の構成に関する研究,第60回日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

宮澤祐子・阿部貴弘・天野光一, 青梅市内の多摩 川に関わる呼び名に関する基礎的研究, 第60回日 本大学理工学部学術講演会, 2016.12.3

松崎翔矢・阿部貴弘・天野光一,近世城下町町人 地の設計論理に関する研究―近世城下町秋田を事 例として一,第60回日本大学理工学部学術講演 会,2016.12.3

田島洋輔・岡田智秀・落合正行・横内憲久・水石 知佳、東京港における水上交通を活用した海上景 観の魅力形成に関する研究(その1)好ましい海 上景観とその評価理由から見た景観特性、第60回 日本大学理工学部学術講演会、2016.12.3

水石知佳・岡田智秀・田島洋輔・落合正行・横内 憲久、東京港における水上交通を活用した海上景 観の魅力形成に関する研究(その2)好ましい海 上景観の観賞形態について、第60回日本大学理工 学部学術講演会、2016.12.3

関根博史・岡田智秀・落合正行・田島洋輔・横内 憲久・柴崎拓己・鈴木真生、「倉庫リノベーショ ン」の変遷からみた今後のあり方に関する研究 (その1) 都内周辺におけるリノベーション倉庫 の歴史変遷と空間的価値について、第60回日本大 学理工学部学術講演会、2016.12.3

落合正行・岡田智秀・田島洋輔・横内憲久・関根博史・柴崎拓己・鈴木真生、「倉庫リノベーション」の変遷からみた今後のあり方に関する研究(その2)都市周辺における6事例の運用形態について、第60回日本大学理工学部学術講演会、2016.12.3

森紗耶・岡田智秀・田島洋輔・落合正行・横内憲久,都市空間における街区内細街路の景観演出に関する研究―東京都港区北青山地区の街区内細街路の外部景観評価について―,第60回日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

大石麻由・岡田智秀・田島洋輔・落合正行・横内 憲久・村山旭・大山健、千葉県八千代市八千代台 地区における地域再生に関する研究(その1)わ が国最初の戸建て住宅団地「八千代台団地」の計 画配慮事項とその評価、第60回日本大学理工学部 学術講演会、2016.12.3

新橋一士・岡田智秀・田島洋輔・落合正行・横内 憲久・森紗耶・神尾奨太, 千葉県八千代市八千代 台地区における地域再生に関する研究(その2) 八千代台まちづくりワークショップを通じてみた 住環境評価, 第60回日本大学理工学部学術講演 会, 2016.12.3

村山旭・岡田智秀・田島洋輔・落合正行・横内憲 久・大石麻由・大山健、千葉県八千代市八千代台 地区における地域再生に関する研究(その3)市 街化の歴史的変遷と住民の住環境評価からみる地 域再生ビジョンの方向性について、第60回日本大 学理工学部学術講演会、2016.12.3

押田佳子・横内憲久・岡田智秀・安齋七風、湘南 サナトリウムにおける近代メディカルツーリズム に関する研究―(その1)南湖院設立に伴う茅ヶ 崎の発展に着目して―、第60回日本大学理工学部 学術講演会、2016.12.3 安齋七風・横内憲久・岡田智秀・押田佳子、湘南 サナトリウムにおける近代メディカルツーリズム に関する研究―(その2)「南湖院」療養者手記 より捉えたレクリエーションおよびメディカルツ ーリズムの実態―、第60回日本大学理工学部学術 講演会、2016.12.3

中原真緒・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・安斎 航也・佐藤恵、災害時における歴史観光地の防災 と復興に関する研究―(その1)鎌倉の寺院をケ ーススタディとして―、第60回日本大学理工学部 学術講演会、2016.12.3

佐藤恵・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・中原真緒・安齊航也, 災害時における歴史観光地の防災と復興に関する研究—(その2)関東大震災時の避難場所に着目して—,第60回日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

布川拓実・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・近藤 彩夏、東京都心部における屋上農園の現状と課題 に関する研究、第60回日本大学理工学部学術講演 会、2016.12.3

松下依里香・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・屋代明日香、緑のまちづくりにおける壁面緑化のあり方に関する研究―壁面緑化と建築物の受賞作品の評価に着目して一、第60回日本大学理工学部学術講演会、2016.12.3

白石翔大・落合正行・横内憲久・岡田智秀・押田 住子・隅田和輝、都市部におけるマンション内に 立地する住民自治組織の活動拠点施設の実態―川 崎市の町内会館・自治会館を対象として―,第60 回日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

岸田樹・横内憲久・岡田智秀・押田佳子・加藤正 紘、住民意識からみた「経年優化」の構成要素に 関する研究―板橋区サンシティにおけるメインル ートに着目して一、第60回日本大学理工学部学術 講演会、2016.12.3

猿澤優太・柳川星・阿部貴弘,米国ワシントン州シアトルの日本人街の空間と活動に関する基礎的研究―『北米百年桜』を史料として,第60回日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

久松賢生・阿部貴弘, インフラツーリズムの魅力 に関する基礎的研究, 第60回日本大学理工学部学 術講演会, 2016.12.3

藤村祐貴・阿部貴弘,歴史まちづくりの効果に関する基礎的研究―米国の歴史的環境保全計画における計画評価方法に着目して,第60回日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

前原千智・阿部貴弘,洪水被害地域における市街 地形成過程に関する基礎的研究—「平成27年9月 関東・東北豪雨」に係る茨城県常総市の鬼怒川氾 濫被害地域を事例として,第60回日本大学理工学 部学術講演会,2016.12.3

小泉雄大・岡田智秀・横内憲久・瀧澤慎太郎,農村景観保全に向けた「コンパクトファーム」の提案と実現化方策に関する研究―(その5)コンパクトファーム実施に伴う集落営農組織の運用方策の検討―,第60回日本大学理工学部学術講演会,2016 12 3

瀧澤慎太郎・岡田智秀・横内憲久・小泉雄大・ 秋間涼太・鈴木涼太、中山間地域活性化に向け た林業支援策に関する研究—(その2)「木の駅プロジェクト」実行委員会へのヒアリングを通じて一,第60回日本大学理工学部学術講演会,2016.12.3

植田瑞昌・八藤後猛、障害をもつ子どもに配慮した排泄環境改善のための基礎研究 さまざまな障害からみた排泄環境の実態、第60回日本大学理工学部学術講演会、2016.12.3

小林昭男・羽柴秀樹・関文夫・仲村成貴・峯岸邦 夫・鎌尾彰司・重村智・山中光一・後藤浩、熊本 地震調査報告~港湾・ライフラインの被害調査~、 日本大学理工学部第14回理工学研究所講演会、 2016.12.3

後藤浩・依田光正・城内博・竹澤三雄、水面からの光の乱反射による人の視覚系への影響を考慮した親水空間デザインの考察、第59回日本大学工学部学術研究報告会、2016.12.3

西山孝樹・天野光一,近代以降における観光資源 「段葛」の整備,第31回日本観光研究学会全国大 会,2016.12

佐々木葉・岡田智秀・山口敬太・出村嘉史, 恵那市における景観まちづくりの実践の歩みとそこからの学び、土木学会第12回景観・デザイン研究発表会, 2016.12

小泉雄大・岡田智秀・横内憲久, 水田を中心とする農村景観保全に向けた「コンパクトファーム」

の運用方策に関する研究―農事組合法人富田営農をケーススタディとして―、土木学会第12回景観・デザイン研究発表会、2016.12

三富翔平・天野光一・西山孝樹, D/H と街路空間の印象評価の関係に関する基礎的研究, 土木学会第12回景観・デザイン研究発表会, 2016.12

山中新太郎・八藤後猛・落合正行・三橋侑平・植田瑞昌、子どもの学びや遊びの傾向と公園利用の相関 川崎市田島地区における公園の利用実態に関する研究(その1),第87回日本建築学会関東支部研究発表会、2017.2

八藤後猛・山中新太郎・落合正行・三橋侑平・植田瑞昌,小中学生の遊びに関する保護者の意識と実態 川崎市田島地区における公園利用の実態に関する研究(その2),第87回日本建築学会関東支部研究発表会,2017.2

三橋侑平・山中新太郎・八藤後猛・落合正行・植田瑞昌、利用者数からみる公園ごとの評価と実態川崎市田島地区における公園の利用実態に関する研究(その3)、第87回日本建築学会関東支部研究発表会、2017.2

落合正行・山中新太郎・八藤後猛・三橋侑平・植田瑞昌、公園利用が地域住民による自主管理・運営体制に与える影響 川崎市田島地区における公園利用の実態に関する研究(その4),第87回日本建築学会関東支部研究発表会,2017.2

後藤浩・依田光正・城内博・竹澤三雄、水面からの光の乱反射の人間の視覚系への影響に関する一考察、第44回土木学会関東支部技術研究発表会、2017.3

小泉雄大・横内憲久・岡田智秀、人口減少時代における農村景観保全のあり方に関する研究―縮小型農村景観形成方策としての「コンパクトファーム」の提案―、第44回土木学会関東支部技術研究発表会、2017.3

水石知佳・岡田智秀・田島洋輔・落合正行・横内 憲久、東京港における水上交通を活用した海上景 観の魅力形成に関する研究、第44回土木学会関東 支部技術研究発表会、2017.3

森紗耶・岡田智秀・田島洋輔・落合正行・横内憲 久、都市空間における街区内細街路の景観演出に 関する研究、第44回土木学会関東支部技術研究発 表会、2017.3

西山孝樹・髙野秀太・天野光一, フランスにおける「温泉リゾート地」の分類, 第44回土木学会関東支部技術研究発表会, 2017.3

島森晃一・仲村成貴・関文夫,実測記録と数値モデルに基づくバランスド扁平アーチ橋の振動特性 把握一稼動部のモデル化一,第44回土木学会関東支部技術研究発表会,2017.3

#### 平成28年度後期 "まち"行事・イベントカレンダー

## 10/8 **4** 9 **1** お茶の水 Art ピクニック に参加



建築デザイン演習 (1年生)の課題「自 宅周辺の模型」を、 御茶ノ水駅前の「仲 通り」で展示しまし た。

◆仲通りでの1年生の 「白字周辺の模型 | 展示 ました。すでに内定を得ている 4 年生(1 期生)による就職体 験談は有益なものでした。







八藤後主任の挨拶

## 10/ まちづくり工学科 21 金 「卒業生の会」の名称決定

各研究室代表(4年生)による「卒業生の会」幹事会で、会名が『桜まち会』に決定しました。

10/22 🖨

平成28年度就職ガイダンスを 開催

3年生を対象としたまちづくり工学科就職ガイダンスを開催し

## 11/4 金 桜理祭講演会



八藤後猛教授が、「それは東京 オリンピック・パラリンピック から始まった一人々の平等を保 障するまちと建築、公共交通 一」をテーマに、桜理祭(理工 学部祭)で講演を行いました。

◀桜理祭での講演

## 理工学部図書館主催 11/14 「サイエンスカフェ」



サイエンスカフェでの青木先生と落合先生

青木和夫教授と落合 正行助手が「健康づく りは街づくり」をテーマに、駿河台キャンパ ス1号館カフェテリアでトークイベントを行いました。

#### 11 24 本 (学会·協会賞等受賞)

· 受 賞 者:仲村成貴(准教授)

受 賞 名:平成27年度土木学会出版文化賞

表 彰 内 容:『ようこそドボク学科へ! 都市・環境・デザイ

ン・まちづくりと土木の学び方』の出版(共著)

授与機関名:(公社) 土木学会 受賞年月日: 平成28年6月10日 · 受 賞 者:落合正行(助手)

受 賞 名:2016年「これからの建築士賞」 表彰内容:あだち農まちプロジェクト 授与機関名:(一社)東京建築士会 受賞年月日:平成28年6月8日



表彰された落合先生(左)と仲村先生(右)

## 12/3 中 理工学部学術講演会

9時から17時20分まで、駿河台キャンパス1号館で特別セッションを含め652編の研究成果が発表されました。まちづくり工学科は、「都市・交通計画部会」で38編中30編が口頭発表、8編がポスター発表で、発表者のほとんどが3年、4年生でし



口頭発表風景

た。また、特別 セッション「熊 本地震被害調査」 では、後藤浩教 授と仲村成貴准 教授が連名で口 頭発表を行いま した。

## 

## ■ 12 宅建士·技術士第一次試験 合格者祝賀会

本年度の宅建士合格者の7名(累積12名)と、技術士第一次試験合格者15名(累積16名)をはじめ、在学中にこれらの資格を取得した合計28名のうち17名が出席し、合格をお祝いする会を駿河台キャンパス5号館食堂で行いました。



合格者祝賀会参加者の集合写真

まちづくり工学科初の卒業研究審査会が行われました。学生は4つのグループに分かれ、指導教員以外の4名の教員と学生の前で発表しました。さまざまな研究分野がある本学科ならではの多岐にわたるテーマの発表がなされました。



1 会場あたり 4 年生 15 ~ 16 名、教員 4 ~ 5 名に分かれ、 4 会場で計 63 名が発表

## → 3/6 □ 卒業者発表

本年度(第1期生)の卒業者数は64名です。

25 学位記伝達式、学科謝恩会開催

学会・協会等の受賞、テレビ放映や全国紙・雑誌等に掲載された記事、書籍の出版など、本学科の教職員・学生の活躍を紹介します。

#### [受賞]

#### ■ 助手 西山孝樹

土木学会平成28年度全国大会第71回年次学術講演会優秀講演者賞

対 象:旅行・宿泊プランからみた現代における「湯治」の実態

受賞年月日:平成28年9月7日

土木学会デザイン賞最優秀賞

■ 教授 天野光一 ほか

対 象:白糸ノ滝滝つぼ周辺環境整備

受賞年月日:平成29年1月29日

■ 4年 中原真緒 (横内·押田研究室)

2016年度日本建築学会大会(九州)学術講演会若手優秀発表賞

対 象:「ワテラス」における学生のまちづくり参加のあり方に関 する研究―(その2)周辺町会の活動状況と取り組みに

対する評価

受賞年月日:平成28年10月15日

#### [テレビ番組に出演]

#### ■ 准教授 押田佳子

NHK E テレ「先人たちの底力 知恵泉」人生、楽あり! 水戸黄門・人生のプロ(後編)

放 送 日:平成28年4月12日

#### [学会誌・専門誌に掲載]

#### ■ 教授 後藤 浩

記事「津波の来襲が想定されるわが国沿岸域における海岸保安林の機能に関する調査 |

掲 載 誌:『建設物価』2016年6月号(建設物価調査会)

発行年月日:平成28年6月1日

随時情報を、横内メールまでお寄せください。なお、本年度の学会等での発表は、次号(10月発行予定)にまとめて掲載します。

#### ■ 特任教授 横内憲久

#### 記事「海の利用の主要な形態」

掲 載 誌:(公財) 笹川平和財団海洋政策研究所編『沿岸域総合管理

入門』(東海大学出版部)

発行年月日:平成28年3月31日 記事「海のレイヤーゾーニング」

掲 載 誌:『都市計画』2017年1月号(日本都市計画学会)

発行年月日:平成29年1月15日

#### ■ 准教授 阿部貴弘

#### 記事「戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する調査」

掲 載 誌:『土木学会誌』Vol.101 No.4 (土木学会)

発行年月日:平成28年4月15日

#### 記事「見て歩き土木遺産 深川を歩く」

著 者:阿部貴弘、柳川星、飯田貴志、佐藤恵、鈴木和也、松下

直道、河野力龍、慶野春毅

掲 載 誌:『月刊 土木技術』(理工図書)

発行年月日:平成28年1月1日

#### 記事「見て歩き土木遺産 東海道 川崎宿を歩く」

著 者:阿部貴弘、落合正行、柳川星、飯田貴志、佐藤恵、鈴木

和也、松下直道、吉岡秀斗

掲 載 誌:『月刊 土木技術』(理工図書)

発行年月日:平成28年4月1日

#### 記事「見て歩き土木遺産 東京オリンピックの舞台 明治神宮外苑を歩く」

著 者:阿部貴弘、押田佳子、柳川星、飯田貴志、鈴木和也、松

下直道、吉岡秀斗、河野力龍、慶野春毅

掲 載 誌:『月刊 土木技術』(理工図書)

発行年月日:平成28年7月1日

#### 記事「見て歩き土木遺産 神田駿河台を歩く」

著 者:阿部貴弘、佐々木凌、布川拓実、樋口瑛大・藤村佑貴、 村山旭、柳川星、渡辺万紀子、飯田貴志、佐藤恵、鈴木

和也、松下直道、吉岡秀斗、慶野春毅 ほか

掲 載 誌:『月刊 土木技術』(理工図書)

発行年月日:平成28年10月1日

#### 平成28年度 まちづくり工学科各賞受賞者

#### 卒業研究最優秀発表賞(1名)

#### ■ 水石知佳

東京港における海上からみた景観特性に関する研究

―視距離と視野角の分析を通じて―

#### 卒業研究優秀発表賞(3名)

#### ■ 森 紗耶

都市空間における街区内細街路の景観特性 に関する研究

一奥行プロポーション分析法に基づく街区内 細街路の景観評価について—

#### ■関根博史

「倉庫リノベーション」による地域資源としての大空間活用に関する研究

一都内3事例のリノベーション・デザイン の留意点について—

#### ■ 石松 玲

空港の多様性に関する基礎的研究 一乗降目的以外の役割に着目して一

#### 理工学部南棟建設の進捗 2017.2.20

駿河台キャンパスの南棟(5号館横)は、現時点で地下工事がほとんど完成したようです。地下3階の工事でしたので、かなり時間がかかったようです。これからは地上部です。通常、1階完成するのに1カ月といわれています。19階建ですので19カ月、2018年の秋ごろには完成かもしれません。

1月で地下階部分はほぼ完成。巨大なクレーンが備えられ地上部工事に着手







今回の特集「わたしの趣味、道楽」はいかがでしたか。破天荒な道楽はみられませんでしたが、先生方の品の良い趣味を披露していただきました。それにしても、意外な趣味をお持ちで、まとめ役としても楽しい時間となりました。特集の2つ目は、心配だった「初めての就職」の結果です。ご担当の仲村先生にまとめていただきました。ほぼ100%の就職率でほっとしています。また、昨年度の教員・学生の研究成果「研究業績」を掲載しました。92編もの研究成果となりました。来年度は今年度を越す編数を期待します。今号には間に合いませんが、3月25日はまち科初の卒業式です。卒業おめでとう! その様子は次号に掲載します。 (横内)

